

小布施辞典

# おぶせ あいうえ

第6号

かで読む  
小布施

TAKE FREE



「か」で読む小布施。

## CONTENTS

- 04 「か」からはじまる小布施町、おしえてください。
- 06 紙芝居 -物語ボックス-
- 12 家具作家 -Art & Craft よしのや 吉川 喜啓-
- 16 カレーライス
- 19 掛軸 -鶯毛堂 掛軸工房 OBUSE-
- 20 〽 -かねいち くつろぎサロン-
- 21 カラオケ
- 22 桂亭
- 23 カブトムシ
- 25 オブセにナンカ妖怪
- 26 おばあちゃんの背中
- 29 編集後記



栗とお砂糖だけでつくり、こつくりした栗あんに、  
大きな栗の粒を合わせた「純栗かの子」。  
120年以上愛され続けるおいしさは今も昔も変わりません。  
みなさまの一年のご多幸を祈って……  
縁起物の栗あんとんをまじりけのないおいしさでお届けします。



信州小布施で栗菓子二百年  
桜井 甘精堂



# かみしばい

【紙芝居】

number.01

小布施のまちなかを歩いていると  
そこかしこに見かける  
紙芝居型の屋根付きボックス。  
5枚のパネルからなる物語は  
すべて小布施町にまつわる  
民話が綴られています。

正式名称は「物語ボックス」。  
これがどのように生まれたのか、  
そのルーツをたどりました。

## 小布施町中心部にたたずむ 10基の「物語ボックス」

「昔」  
むかーし、あるところに…」そんな語り  
口で語られる地域の昔話や伝承。暮ら  
しのなかのほのぼのとした喜びや笑い、悲しみ  
などが長い年月をかけて語り継がれたもので、  
物語にふれるとどこか懐かしさや人間の普遍的  
な喜怒哀楽を感じる気持ちに包まれます。

そんな過去と未来をつなぐ小布施町の民話  
を紙芝居立てにしたものが、まちなかで見  
かける「物語ボックス」。昔ながらの言葉づか  
いで綴られた文章と趣のあるイラストが描か  
れた5枚綴りのパネルで、ふすまを開けるよう

に次の場面へと読み進めていくユニークな仕掛けが特徴です。物語は、雁田山のふもとに住  
む染色上手な娘・おまんの人生を描いた「お  
まんの布地」や、徳川家康の姫が松代の殿様

に嫁ぐときの化粧料として小布施に栗を植え  
たという「まんない姫と小布施栗」など郷土  
の歴史にちなんだもの。押羽の里を訪ねた神  
様の目に栗が落ちて以来、この地では栗が植  
えられなくなつた「栗と神様」という民話に  
ついては、なんと今でも実際に押羽地区には栗  
が1本も生えていないというから驚きます。

この「物語ボックス」の数は全部で10基。ま  
ちの中心部と岩松院 おぶせミュージアム・中  
島千波館前に設置されていて、観光客や親子連  
れのまちの住民、小学生たちが興味深そうに立



ち止まつて紙芝居を眺めている姿は、小布施で  
見慣れた風景になっています。

## ふすま式紙芝居をヒントに 生まれたオリジナル紙芝居

そんな「物語ボックス」が設置されたのは平  
成13年。小布施町役場で働く池田清人さんのア  
イデアから始まりました。「物語ボックス」に先  
駆け、まちでは平成4年に新しい文化拠点とし  
ておぶせミュージアム・中島千波館を設立。平  
成10年には「小布施音楽祭」も始まるなど、ま  
さに文化のまちとして「潤いのあるまちづくり」  
を進めているところでした。そうしたなか、町民  
有志も店舗のショーウィンドウに美術品などを  
展示し、楽しくまちを歩けるよう工夫していた  
ことから、池田さんも「まち歩きをしながら小  
布施の歴史が伝わるものができるたら」と考え、  
県内各地を歩いてヒントを探訪。たどり着いた  
のが、世界の童話や信州の民話を展示している  
「黒姫童話館」の室内用ふすま式紙芝居でした。  
これをアレンジして、耐久性に優れた全天  
候型タイプにしたのが「物語ボックス」です。  
パネルはアルミ製で、枠組みもスライドはス  
ムーズながら子どもが指を挟まないようス  
トッパーを装着。何度も試作を重ね、雨水が  
たまらない形状にも工夫しました。

展示する物語はもちろん、郷土史からセレク  
ト。まずは小布施に伝わる民話や伝承をすべ  
て洗い出そうと、当時のおぶせミュージアム学  
7

## 物語ボックスのおはなしたち



### 子どもの好きな如来さま

如来さまが奉られた福原のお堂に子どもが入れないよう、格子戸を取り付けたところ、おかみさんが病気になってしまい…。



### 竜灯の雨ごい

毎日日照りが続き、百姓たちは困っていた。そこで、「観音さまにお願いしよう」とみんなで玄照寺に集まり雨ごいをすると…。



### 狐どんの道案内

つい飲みすぎて帰りが遅くなってしまった実五郎。あたりは暗闇で道もわからぬ。すると先日どうじょうをあげた狐の声がして…。



### あわて男の善光寺参り

山王島の彦作がある日、善光寺にお参りするために家を出る。しかし彦作のあわてん坊の性格ゆえ、道中で愉快な出来事が起こる。



### まんない姫と小布施栗

小布施が栗の名所となったきっかけといわれるおはなし。昔、徳川家康に「まんない姫」という器量の良くない姫がいて…。



### あきかさん

あきかさんとは横町に奉られている秋葉権現のこと。ある日、隣町で大火が起り、町の人々があきかさんに無事をお祈りすると…。



### 北斎と鴻山と(世間話)

「天保の大飢饉」のときの鴻山の活躍から、北斎に出会い小布施へ招いて多くの作品を残すまでのおはなし。



### 西向きの大日さん

大日堂の前を馬が通ると急に暴れ出し落馬してしまう。困った村人がお堂のなかの石仏を調べると、そこには秘密が…。



### おまんの布池

雁田山のふもとに染物がたいそう上手なおまんという娘がいた。ある日、殿さまから「褐色の布」を献上するよう命じられ…。



(右)「物語ボックス」の制作に携わった池田清人さんと、荒井陽子さん。(左)「物語ボックス」のもとになった、「小布施百話」。



芸員だった荒井陽子さんと一緒に県立図書館などに足を運び、さまざまなお話を集めました。加えて、まちの方々が戦時体験や農業の思い出などを寄稿するかたちで年に1回ほど発行される小布施町文化協会郷土史の会の『小布施百話』や須高地区の童話なども徹底的に検索しました。

さらに民話に詳しい古老から話を聞くなど、あらゆる手を尽くして集まつたのがおよそ65話。これらを、黒姫童話館館長の羽生田敏さんの協力のもと、まちで知られている伝承を中心絞り込み、1年もの時間をかけてなんとか10話にまとめました。

そして、集まった物語をベースに、羽生田さんと高橋忠治さん、和田登さんという3名の北信在住の児童文学者がオリジナル作品というかたちで絵本風の文面を執筆。イラストは小布施町にアトリエを構える丸山武彦さんら北信の5人の画家が手がけ、水彩画だけでなく切り絵もある、さまざまな作風の「物語ボックス」が完成しました。

まちづくりに向けたアイデアが新たな小布施の文化に

こうして設置された小布施だけのオリジナル紙芝居「物語ボックス」。



### 栗と神様

小布施の押羽という地域には1本も栗の木がはえていない。なぜかというと昔、神様が押羽を訪れたときに起こった事件が原因だった。

評判は上々で多くのメディアで取り上げられ、町内でも高い評価を得たそうです。当時のことを尋ねると、「やはり感概深かったね」と池田さん。「完成したときは『できたー!』と思うと同時に、本当に疲れて『一度『まちじゅう美術館』のような雰囲気のまちづくりをしたい』という構想が路上で演奏したり、文化が漂うと思ふと同時に、本当に疲れて『一度『まちじゅう美術館』のような雰囲気が路上で演奏したり、文化が漂う』とやるか』とも思ったけど(笑)、これからはヨーロッパのよう音楽家が路上で演奏したり、文化が漂う」とやるか』とも思ったけど(笑)、これからはヨーロッパのよう音楽家が路上で演奏したり、文化が漂う」とやるか』とも思ったけど(笑)、

そうですね。評判は上々で多くのメディアで取り上げられ、町内でも高い評価を得たそうです。当時のことを尋ねると、「やはり感概深かったね」と池田さん。「完成したときは『できたー!』と思うと同時に、本当に疲れて『一度『まちじゅう美術館』のような雰囲気のまちづくりをしたい』という構想が路上で演奏したり、文化が漂うと思ふと同時に、本当に疲れて『一度『まちじゅう美術館』のような雰囲気が路上で演奏したり、文化が漂う』とやるか』とも思ったけど(笑)、これからはヨーロッパのよう音楽家が路上で演奏したり、文化が漂う」とやるか』とも思ったけど(笑)、これからはヨーロッパのよう音楽家が路上で演奏したり、文化が漂う」とやるか』とも思ったけど(笑)、

『おもてなし』の精神を大切にしてきたから、この事業はまちの人の気持ちはおもしろい取り組みや文化事業をやっていかないつまらない。文化や芸術はお手本があるわけじゃないから、とにかく自分でつくつていかないとね』

そんな池田さんの思いが込められた「物語ボックス」。完成までのストーリーを知つてから改めて読むと、これまでと違つた発見があるかもしれません。すでに何度も読み慣れた人も、ときにはボックスの前で足を止めて、じっくりと紙芝居の世界にふけつてみませんか。

カレーだけじゃ  
ないんです。



### 物語の パーティーコース

お料理 2,500円(税込)

- オードブル盛合わせ
- 漬けサーモンのサラダ わさび風味
- ポテトフライ
- オブセ牛乳で作った熱々グラタン
- 柄尾揚げのロースト
- 生ハムのサラダ
- 焼カレー

12月・1月限定  
+2,000円で飲み放題

- 樽生よなよなエール
- セルフカクテル
- ソフトドリンク

※10名様以上でご注文ください

※お料理の内容は一例です ※写真は5名様のお料理です

長野県産樽生クラフトビールあります！

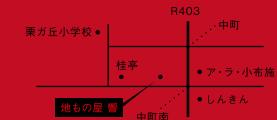


地麦酒  
地葡萄酒  
地旬肴

長野県上高井郡小布施町大字小布施 1101

TEL.026-247-6911

コースの詳細は電話にてお問い合わせください。



物語ボックス  
設置 MAP

町内の10箇所に設置されている物語ボックス。駅から岩松院に向かって歩いていくと、順に楽しむことができますよ！

日々の生活のなかで必ず手にふれる家具。

暮らしを豊かに彩るインテリアの主役です。

そんな家具を手がける地として

小布施町を選び

世界でひとつの注文家具を製作する、

古川喜啓さんを訪ねました。



古川 喜啓 Yoshihiro Furukawa

家具作家。須坂市出身。高校卒業後、東京のテレビ局の舞台美術で働きつつミュージシャンを志し、メジャーレベルよりレコードデビュー。26歳で帰京後、注文家具屋で3年間の修業を積み、1991年に小布施で工房開設。1999年、同町にギャラリー「Art & Craft よしのや」をオープン。

## 小布施に魅力を感じ 注文家具の製作拠点に

**小** 布施の中心部、中町の交差点を

北東へ。「おぶせミュージアム」やクラフト作家のギャラリーなどが建ち並ぶ観音通り（通称・ギャマン通り）は、町のアートが集結するエリアです。その一角にあるのが「Art & Craft よしのや」。家具作家古川喜啓さんが手がける木製家具のショールームです。蔵造りの重厚な扉を開けると、古川さんが製作したシンプルで洗練されたフォルムのオリジナル家具をはじめ、奥様と選んだ作家ものの器や生活雑貨、木のおもちゃなどがずらり。薪ストーブが備えられた店内には暖かい空気が漂い、木のぬくもりと相まって穏やかな雰囲気に入っています。

古川さんが家具職人になったのは29年前。もともと手作業と音楽が好きで、東京でミュージシャンをめざしながらテレビ局の舞台美術を担当していましたが、20代後半で地元・須坂市に帰郷。舞台美術で培った技術を生かして市内の注文家具屋で3年間働き、1991年に独立しました。工房として選んだのは、小布施町内の浄光寺近くの元牛舎。大きな

設備を置けるスペースがあり、作業中に音を出しても近隣の迷惑にならないことを考えたのだそう。改装は自らの手で行いました。

「小布施は北斎が逗留していたといふ魅力もあるし、まちのサイズがコンパクトでいいですね。大きな都市だと人のつながりは強くなりませんが、人口1万人弱の小布施は良くも悪くもお互いがわかるのがいいんですね。それに、住んでいる方も、おもしろい人が多いですしね」

屋号の「よしのや」は、かつて祖父が営んでいた建具屋と祖母が始めた家業の魚屋の名称がいすれも「よしのや」だったことから名付けました。独立後、縁あって小布施町内の穀平味噌ギャラリーで個展を行うと、その丁寧な創作家具は瞬く間に評判になりました。今ではインターネットからの依頼を中心に、3カ月待ちということもあるほど、注文家具のオーダーが続々と入っています。

インターネットから生まれる信頼関係の背景にあるもの

基本的に和洋問いませんが、北欧スタイルのデザイン家具。

「若い頃は金具が付いた和家具のデザインが好きでしたが、年とともにシンプルで細部が凝つている北欧家具が好きになつきましたね」

現在は、北は北海道から南は屋久島、さらに海外はニューヨークからも注文が入ります。いずれも從来の知り合いでではなく、9割ほどは「Art & Craft よしのや」のホームページを見ての依頼。メールのみのやりとりでの製作も多いものの、そこにも温かみを感じるのが吉川さんの仕事。ホームページをのぞくと、機能美とぬくもりが両立したデザインの作品が並び、これまで製作した家具の詳細や完成までのエピソードが丁寧に記されてきます。さらに、コンテンツの中にはライフルワークとしてほかの木工作家の工房を訪ねてレポートするページも。これは自らの勉強も含めて同業者に向けて書いているそうで、そんなところからも古川さんが楽しみながらも真摯に仕事に向き合っている様子を感じ取ることができます。

そんな古川さんが製作する家具は





クロカン、スノーシュー  
のアクティビティ!  
スキーやボード  
の癒癒にも!



古川さんのお気に入りの「リトチェア」。  
ダイニングチェアやパーソナルチェアと  
しても使える人気商品です。

快適な暮らしのために作り手と  
使い手がお互いを信頼し、大量生  
産では作り出せない、ただひとつ  
のものを製作する注文家具。それは  
決して安いものではなく、これまで  
知らない相手にメールのみでオー  
ダーするのは大きな不安も伴いま  
す。しかし、「この人に頼んでみた  
いな」という気持ちを掲ぎ立てら  
れるワクワク感が「Art & Craft よ  
しのや」のホームページには溢れ  
ています。そして、毎日の暮らし  
のなかで使うテーブルや椅子、空  
間にストーリーが生まれる楽しみ  
も、古川さんの注文家具からは感  
じ取ることができます。

## 家具の使い手の喜びに

そんな古川さんが「最近のお気に  
入り」と挙げるのが、「リトチェア」。  
東京在住のリトちゃんという女の子  
の名前を拝借したこの椅子、かつて  
リトちゃんの両親のオーダーで小  
学校の入学時に作った学習机をきっ  
かけに、リトちゃんの成長とともに、  
その後中学進学に合わせて製作した  
椅子です。無駄を削ぎ落としたシン

プルなデザインで、蒸気で曲げた背  
もたれが体を心地よく包みます。  
「個人的に好きなのは椅子の製作  
です。デザインも難しく、安定性や  
安全性も考慮しないといけない難し  
さもありますが、作っていて楽しん  
でますよね」

そうした椅子のなかでも、最近  
多く注文が入るのが、玄関の狭いス  
ペースで靴を着脱するのに便利なサ  
ポートスツール「玄関椅子」。朝日  
新聞社主催「第6回暮らしの中の  
木の椅子展」に入選した作品で、な  
んと、年間50脚ほども製作している  
のだと。来年1月には「東京ミッ  
ドタウン」で展示も行われます。「こ  
うした公募展には、これからも積極的  
に応募したい」と話す古川さん。

「例えばブランドものの洋服を着て  
いると、それだけで誰かに言いたく  
なるように、僕が賞を取ると家具を  
オーダーしてくれたお客様が喜ん  
でくれるんですね。そのためにも  
公募展で数多く受賞したいんです」

そんな職人魂もまた、古川さんが  
作り出す家具の魅力。この熱い想い  
から唯一無二の魅力をもつた家具が  
生まれています。



Art & Craft よしのや  
小布施町小布施 609-1  
⌚ 026-242-6606  
10:00～18:00 (1・2月は10:00  
～17:00) / 水曜定休(祝祭  
日は営業)  
yoshinoya@ac-yoshinoya.com

05.

野菜たっぷりカレーライス  
¥880

野菜・肉の形がほとんどなくなるまでじっくりと煮込まれた辛口のチキンカレーをバターライスと一緒に召し上がり♪一口食べると程よい辛味と、野菜やりんごの甘味を感じることができます。小布施産の栗も一緒にお楽しみください！自家製チャツネ・ピクルス付き。

おもてなし利へい

小布施町小布施 1111 1F / 090-7419-7819 / 10時30分～16時／不定休のため、お問い合わせください。

野菜たっぷりカレーライス  
¥880

04.

野菜のみを使用した、ベジタリアンの方もOKのカレーライス。メニュー名通り、たっぷりの野菜を使用しており、一口食べるとその甘味に驚いてしまいます。子どもから大人まで楽しめ、15時過ぎまで提供しているので小腹が空いたときにもおすすめです！サラダ・ドリンク付き。

ア・ラ・小布施

小布施町小布施 789 / 026-247-5050 / 9時～17時 (L.O.16時30分) / 定休日なし (12月～3月のみ火曜定休 / 営業時間10時～16時) / <http://ala-obuse.com>

06.

信濃地鶏からとったダシが効いたスープカレー。素揚げされた地元産のみずみずしい野菜と長野県産のコシヒカリとの相性は抜群です！別メニューの焼カレーも人気です。ランチセットはサラダ・ヨーグルト付き。

地もの屋 韶

小布施町小布施 1101 / 026-247-6911 / 11時30分～14時30分、18時～22時30分 / 月曜定休

number.03

# カレーライス図鑑

【かれーらいす】

キーマカレー ¥800

野菜とひき肉をふんだんに使用した、酸味・辛味・甘味のバランスがとても良い、キーマカレー。真ん中の温泉卵を割る瞬間がなんとも幸せです。こちらのカレー、半分ほど食べたら、特製のオリジナルソースをかけてみてください。1食でふたつの違った味が楽しめますよ！

TSUMUGI CAFE

小布施町小布施 1499 / 026-214-3915 / 11時～17時 / 不定休 / <http://tsumugi-cafe.jp>

03.

小布施蔵カレー ランチセット  
¥960

チキンカレー ¥854

バングラデシュへの医療支援がつながりとなって、現地の方からご指導いただいたという、創業当時から変わらぬ伝統の味はメイプルのメニューでも不動の人気。辛口のチキンカレーですが野菜の甘みがうまく調和して、辛味が苦手な方でもペロリと食べられます！ミニサラダ付き。

カフェレストラン メイプル

小布施町小布施 851-4 / 026-247-5847 / 8時30分～17時 (L.O.16時30分) / \*土曜日は15時まで (L.O.14時30分) / 日曜、祝日定休

01.

トマトと牛乳のビーフカレー ¥900

02.

トマトを3種使用した、インド風のカレーライス。1日かけて飴色に炒めた玉ねぎにトマト、りんご、牛肉やスパイスを加え、じっくりと煮込んで旨さを凝縮させます。ヨーグルトの酸味が隠し味！完成に3～4日かかるという本格カレーを召し上がり！

KITCHEN 穴 GOHAN

小布施町雁田 1194 (穴観音の湯2F) / 026-214-2449 / 11時～15時、17時～20時30分 (L.O.20時)

17

16

か

い石料理から  
季節のお膳まで  
味わえます。

お客様との出会いは、一期一会。

鈴花では

お客様に安心して召し上がる  
いただける旬の食材を、  
地元中心に厳選。

信州・小布施の地で  
百年後も遺る建物、

そこで繋いでいきたい  
商いへの想いを込めた空間で  
至福の時をお過ごしください。

小布施  
鈴花



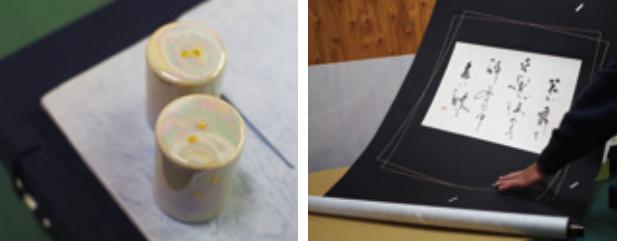
## か けじく【掛け軸】

number 04  
小布施町・福原

日 本画や書画を表装し、美しく仕立てる掛け軸職人。伝統の知識や技術のみならず、それぞれの作品の背景にある作者の思いや風情などを感じ取り、自分なりのデザインで魅力ある掛け軸へと昇華させる仕事です。そんな掛け軸職人として小布施で活動をする桐原学さん。「花が舞う」と書かれた書には夜桜をイメージして黒い生地に桜のようないい」と桐原さん。最近では長野県書道展で特選に入選した小学生のために掛け軸を制作し、特別な思いを感じたようです。

きないこと、気付いていないものを表現すること。「だから悩んで眼れない日が多いけど、苦しみから抜け出すことが仕事の面白さですね」こうした桐原さんの感性を求めて、著名な書家や画家をはじめ、有名アパレルブランドなどからも注文が入ります。しかしそれだけでなく「もっと子どもたちにも掛け軸に関心をもつてもらいたい」と桐原さん。最近では長野県書道展で特選に入選した小学生のために掛け軸を制作し、特別な思いを感じたようです。

「この子は近所の書塾の生徒さんなんですね。書道を一生懸命習えばこんな成果が得られることが、子どものうちに経験させてあげたいですね」こうした思いを込めて制作される桐原さんの掛け軸。その個性はとても魅力的に映ります。



(右上)「花が舞う」掛け軸。桐原さんのデザインが作品の個性と魅力を際立たせます。(左上)軸部分の先につける「軸先」も自ら焼く桐原さん。作品ごとにパールに仕上げたり金箔を貼ったり手びねりにしたりとさまざま。(下)ご自宅の工房にて。桐原さんの仕事と人柄に魅了された作家さんたちはここに遠方からでも訪ねてくるそう。

世の中にふたつとない作品の  
世界観をさらに広げる独自の感性。  
豊かな表現力が生きる、  
掛け軸職人の手仕事。



(左上)表裏全面ブラチナで仕上げた掛け軸。(右下)飯川書塾塾生、宮川陽菜さん(栗ヶ丘小6年)の作品。(左下)竹久夢二の肉筆画で、町内の「和喰料理あと部」から依頼されたもの。



鶴毛堂  
掛け軸工房 OBUSE  
小布施町福原160-3  
026-285-0815  
<http://www.kobo-obuse.com>



電話 026-247-6487

小布施町小布施102-1

昼11:30-14:30 夜17:30-21:30 水曜定休

[www.obuse-suzuhana.com](http://www.obuse-suzuhana.com)

number.06  
**か  
ら  
お  
け**  
[カラオケ]

「モンブラン」はおよそ25年ほど前に現店主・岩井八郎さんの娘さんが喫茶店としてオープンさせましたが、4年ほどして県外にお嫁に行くことに。そこで、もともと力ラオケが趣味であった岩井さんが力ラオケ喫茶として再度オープンさせ、今のかたちになりました。ちなみに「モンブラン」という店の名前はケーキのモンブランでなく、ヨーロッパの山の名前が由来のこと。「好きでやっているから気楽なものだよ」そう岩井さんの話すとおり、お客様はたいていが予約で、歌がともあって、仲間たちが大勢集まり、



うたを通じて広がる、友人の輪。  
趣味からはじめたカラオケ屋さんが、今では町内の憩いの場所に。

カラオケを披露。その場では自分はほとんど歌うことなく、進行役をつとめる岩井さんですが、ふとお店の隅を見上げると、県内外のカラオケ大会のトロフィーがずらり。全部岩井さんのものだというので、その歌声は相当のよう！

岩井さんはお店のほかにも本誌の「え号」で紹介した演歌歌手・瀬名ひとみさんのデビューをきっかけに、まちでうたを広めようと歌謡連盟を立ち上げ、その事務局の取りまとめ役にもなっています。「うたを歌っているといつまでも元気でいられる」と言うように、お客さんのなかには90歳に近い方も！もちろん最近のうたもそろっているので若い方も楽しめます。

個室でないが故に、たまたま居合わせたお客さん同士が友人になるなんろつているので若い方も楽しめます。

人前で歌うのは恥ずかしい、なんて方もお茶のみがてらちょっと足を運んでみてはいかがでしよう。新しい出会いや発見があるかもしれませんよ。

A close-up photograph of a blue-framed glass door, likely a front entrance. The door is set in a light-colored wooden frame. In front of the door, a small, simple wooden bench is positioned on a small patch of green grass. The overall aesthetic is rustic and charming.

カラオケ喫茶 モンブラン  
小布施町小布施 234  
026-247-2926  
12:00～16:00, 18:00～  
22:00／日曜定休

この部屋のものは全部無料で利用できますよ」そう笑顔で話すのはこのサロンをつくった内山英行さん・源子さん夫妻。もともとこの場所は源子さんのご実家で、大正4年（昭和40年代）

一見すると普通の、"立派なお宅"の外観ですが、ここに「おぶせまちじゅう図書館」の白い旗がかかる。ていれば「自由に入つていいですよ」の合図。壁一面の本棚に、6人ほど座れるテーブル、足を伸ばせる畳スベースや台所まで完備されています。

友 達と食べ物を持ち寄つて集まる手頃なスペース、自分の趣味に没頭できる静かな空間、旅の疲れを癒してくれる休憩場所。そんなところがあつたらいいな、そう思つたこと、一度はありませぬか? 街ではそんな願いに応えて、様々な場所でコワーキングスペースが数を増やしていますが、ここ、小布施町にもありますよ! おもてなしの心に溢れた、小布施流コワーキングスペース。それが「」(かねいち)くつろぎサロン」です。

海産物や調味料を取り扱う商店で  
したが、店が閉まつてからは、ずっと  
と物置状態に。10年ほど前にお二  
人が小布施に移住したのをきっかけ  
に、ここをまちのために使えない  
いかと考えたのが始まりでした。  
サロンの名前は商店の「二(かね  
いち)」という屋号を使用するべ  
く当時のものを残して改修をして  
いるため、なかにはお宝では?とい  
えるものも、ちらほら。サロン内  
のカレンダーに事前に書き込めば  
貸切での利用も可能です。

かねいち  
くつろぎサロン  
小布施町小布施1093  
026-247-2005  
9:00～17:00／不定休  
※おぶせどりの旗が出てい  
ないときは休館です

6. 亂世行持道心

「オープンガーデンのよう」に「外はみんなのもの」という精神が小布施にはある気がします。交流の場も広がり良い出会いもありますよ」そんな内山さん夫妻の柄もサロンの魅力。商店時代とは形を変えながら、「かねいち」はまちの人々のコミュニケーションの場として生き続けています。

10 of 10

100年間受け継がれる  
かねいちの名前と、交流  
そこはいつの時代もきつ  
おもてなしの心で溢れてい

「かねいち」の屋号  
店をしていた頃の貴  
写真。ご先祖様も「  
いち」の復活を喜んで  
るに違いありません。

A portrait of a middle-aged man with glasses, smiling, standing in front of bookshelves filled with books.

A collection of old black and white photographs, some mounted on a page, showing various scenes and people.

戸棚や壺、使えるものは全てそのまま使用しているのでどこか懐かしい雰囲気。初めての方も自然とくつろげてしまいます。

A photograph of a wooden shelf holding a red tin box, a white ball, and several books, including one with a blue cover.

当時の「文藝春秋」や戦前の  
教科書も自由に閲覧できます。  
保存状態もとても綺麗です。



3本の栗の木があった頃の写真がこちら。当時は「栗の木3本竹風堂」というキャッチコピーを使用していたとのことです。

ら提案をしたことが最初のきっかけ。日本の  
な建物と近代的なアートの融和を当時の竹風  
堂の代表が面白く思い、およそ一年の時間を  
かけて中嶋さんのアイデアが実現しました。

ソノを立て、栗の木に差しかからうとする  
カブトムシのモニュメント。それは大変見事  
で話題となりましたが、残念なことに何年か  
して木は枯れてしまい、今ではカブトムシは  
中庭に移されました。まちのシンボルとして  
てのカブトムシの親子は町内外のたくさんの人  
から愛され続けています。

さて、実は竹風堂内には他にも中嶋さん  
の作品があります。空を舞う2匹のトンボと  
実り実った三つ栗のモニュメント。是非、近  
隣を訪れた際には探してみてくださいね。



竹風堂(小布施本店)

小布施町小布施 973 / ☎ 026-247-2569  
8:00～19:00(冬季10月～3月は18:00まで)  
年中無休(1月1日と年2日の臨時休業を除く)  
<http://chikufudo.com>

渋谷がハチ公ならば、小布施はカブトムシ。  
いつの間にか当たり前の存在になつた  
「竹風堂のカブトムシ」の謎、ご存知ですか？



福居良弘さんが当時のおぶせの里ドライブインの一部で立ち食いどうん・そば屋をはじめ、その2年後にもナルブランドの『栗サブレ』をはじめ、その後もどんどんお客様の声に応えていたら、いつの間にか何でも屋さんになつてたよ」と笑いつつ、「はじめはこも、うどん・そば屋だったんだけど、串あげや、オリジナルブランドの『栗サブレ』をはじめ、その後もどんどんお客様の声に応えていたら、いつの間にか何でも屋さんになつてたよ」と笑いつつ、「はじめはこも、うどん・そば屋をはじめました。

柱亭

串とめん処 桂亭  
小布施町横町1099  
☎ 026-247-4541  
11:30～14:30, 17:30～  
21:30／月曜定休、日曜  
不定休(夜は予約のみ)  
営業)

ここは、常連さんから愛される  
まさに小布施の「なんでも屋さん」。

人情味あふれる、関西出身のマスターが営む「桂亭」。

日のお昼過ぎ、カラんカラん  
と扉を開けると、カウンター  
ながら話す福居さんの言うとおり、  
おつまみから日替わり定食（選べる  
小布施町・横町

# かつらてい【桂亭】



ホリセイ  
株式会社

高井鴻山記念館館長  
其の六  
金田功

布施のホントピープルを妖怪にしちゃうこの企画、今回はまちの妖怪スケッチ。ポットといえばここ。北斎を小布施に招き、自身も妖怪を描いたことで有名な高井鴻山ですが、その記念館の館長を勤める金田功子さんがターニング点に。今年で館長として4年目の金田さんですが、もともとは東京の出版社勤務。実家のりんご農家を手伝うために1989年にJターンし、旦那さんとともに会社勤め、子育て、農業の三足のわらじを履きながら懸命に生活を送つてこられたそうですが、お話をうかがうと、小布施の話を出てくる出てくる! 北斎、鴻山はどちらも、果ては古地図から見る地籍の移り変わりまで……。ほがらかで素敵な笑顔のこ婦人ですが、なんともタダモノではない氣配が漂います。それもそのはず、なんと金田さんは町民ならおなじみの文化誌「要」の詩を発行していた「ひいらぎ書房」の経営者だったのです。3年前、50号を最後に終刊した栗の詩

文車妖怪 (ワダルモヨウヒ)  
歴史や知識を伝えていきたい!  
という熱いが宿り  
古文書が文化した妖怪。  
日々小説町のことを調べ、  
町民に楽しく伝えている。  
子どもが相手だと  
特に大喜び!



必殺取材ノート！えんぴつ  
を舐め舐め、町中を駆け回って  
なんでも調べちゃいます。金田さんに  
隠し事はできないぜ！？

古文書が変化した奴様  
日々小布施町のことを調べ  
町民に楽しく伝えている。  
子どもが相手だと  
特に大喜び！

ね」とのこと。最近は授業の一環で小中学  
生が訪ねることも増えたようで、「嬉しいん  
だようそれががー！」と、この日一番の笑顔を見  
せてくれました（か、かわいい……）。

そんな郷土を愛する情報通、金田さんを妖怪にすると「文車妖怪」  
古きも新しきも、まちのことならどんこいー金田さんに会いに行く  
行くと知らなかつた小布施が見えてさますよ。

まちの歴史に関わるさまざまな活動をされたそそぎで、「郷土を愛するたくさんの大人たちに、いろいろ教えてもらつたよ」と懐かしそうに語つてくださいました。

現在工事中の高井鴻山記念館ですが、春にはリニューアルオープン予定。それまでは高井鴻山にまつわる資料「高井



かえりたくなる場所。

小布施の中心地に古くから残る土蔵を再生した4部屋のプチホテル。

快適な小布施温泉をご提供いたします



おかげ様で20年！1月11日～3月3日（ご利用）地域の皆さんに感謝をこめて還元宿泊プラン

須高地区お住まいの方からのご予約で、お得なお泊りプランをご用意いたします

# PETIT HOTEL *a·la·* OBUSE

(旧称 ゲストハウス小布施) 381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施789  
TEL 026-247-5050 MAIL [info@ala-obuse.com](mailto:info@ala-obuse.com)

併設  
**ガイドセンター 9:00～17:00**  
**喫茶 9:00～17:00 (LO 16:30)**



## 1月22日は、カレーの日。

第1回カリーフィアズ好評につき

第1回から、主人公が対話しているのは「カリーニの目」にちなみ、この名前

アーレー、火薬と火薬桶の音がきこえます。



レシピでつなぐ むかしの台所といまのキッチン

# おばあちゃんの背中

vol.6 唐澤文子さん(88歳)のりんごジャム

おばあちゃんのお手製料理のレシピをお宅訪問取材、調理中のライブレポートとともに紹介する『おばあちゃんの背中』。

連載6回目を迎えた今回は、「瓶づめばあちゃん」とも呼ばれ愛される、唐澤文子さんにその得意の瓶づめ料理を教えていただきます!

唐

澤文子さんが作る料理は、たくさん

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

福

幸

# きょうさん

あいうえおぶせに協賛してくださっている方々を紹介します！

## ツタハウス

ツタハウス  
長野市権堂町 2341-1  
www.facebook.com/itsutahouse



## ICHICafe

ICHICafe  
小布施町大島 609-2  
tel.070-2679-6618

## Japan Obuse Committee

Japan Obuse Committee  
一般社団法人日本小布施委員会  
小布施町大島 609-2  
tel.070-2679-6618



## 栗日記

www.usupi.org/kuri/



## FREE PAPER 鶴と亀

www.fp-tsurutokame.com/

## ふれぜんと

おもてなし者、求む！

今号で取材した全てのもの・人・お店に訪れ、証拠写真を送つてくださった方、先着3名様に「か」からはじまる、小布施町の何かいいものをプレゼントいたします。

### 応募先

►aiueobuse@gmail.com

締切：「き」号発行日まで

## ぼしゅうちゅう!!

「あいうえおぶせ」を置いてくださる方

「あいうえおぶせ」に協賛してくださる方

「あいうえおぶせ」に広告を出してくださる方

を大募集しております。「き」号を発行するために…

みなさんのお力が必要です。

## へんしゅうこうき

行が変わり、「か」号。実は創刊当初から、ずっと取材したいと思っていた金田さんを念願の妖怪にすることできました。金田さんは町の文化誌、「栗の詩」を年2回、25年かけて50号まで発行した大先輩。「栗の詩」が終刊した次の年から、不思議なことに「あいうえおぶせ」がはじまりました。そんなご縁もあり、本をつくることの大変さをわかっているからこそ、創刊時から厳しくも暖かく、いつも応援してくださる金田さん。とても素敵な妖怪になりましたよ！わたしも、終刊したら妖怪になりたいなあ（編集かわうそ）

取材していると「こんな仕事あるんだなあ」と思うことが多いんですが、今回のそのひとつが掛軸職人さん。作者の要望ではなく作品からのインスピレーションで自由に創作していく、芸術を支える仕事もまた芸術なのだと目から鱗でした。ちなみにこの桐原さん、かつてはシルクロードを旅して新疆ウイグル自治区に1年も滞在してたり、軸先の作り方を学ぶために娘の中学校で陶芸部に参加していたりと生き方もアバンギャルド。そしてトークはノンストップ（笑）。残念ながら文字数に限りがあり話はほぼ割愛しましたが（汗）こういう出会いがあるから取材は面白いですね（編集S）

## あいうえおぶせ 第6号「か」で読む小布施

発行日/2016年12月16日

編集・発行

## MOUNTAIN DRIVE lab.

<http://www.aiueobuse.net>

[http://www.facebook.com/aiueobuse \(Facebook\)](http://www.facebook.com/aiueobuse)

おばあちゃんの背中 取材・文章協力

松澤ゆかり (ICHICafe)

オブセにナンカ妖怪 取材・イラスト・写真協力

妖怪俱楽部のみなさま

## 次号は…



ついに「か」行に手を出してしまった「あいうえおぶせ」。目指せ50音！まだまだ先是長いです……。という訳で今年もご協力・応援していただいた皆さま、本当にありがとうございました！2017年は「き」からスタート。「き」からはじまる小布施町、どうぞお楽しみに！

お問い合わせ

► MOUNTAIN DRIVE lab. (マウンテンドライブ ラボ)

あいうえおぶせ編集部 aiueobuse@gmail.com



## 小布施若者会議

Obuse Youth Conference

5TH

2017.2.17.fri - 2.19.sun

小布施の未来を描く3日間。

町内外から集う60名の若者と。

これからの小布施を語り、

ともに行動しませんか。

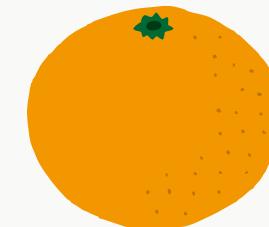
詳細は以下のウェブサイトへ

<http://obuse-conference.jp/>





冬本番となるこれから季節も、暖かい「えんとつ」でお待ちしております。



小布施堂の秋の限定商品「朱雀」を洋風にアレンジした「モンブラン朱雀」。

ナツツを忍ばせたセミフレッド（アイスクリーム）に

小布施堂自慢の栗のヌードルを贅沢に、たっぷりとかけました。

「モンブラン朱雀」は、モンブラン朱雀専門店「えんとつ」にて通年提供しております。

か  
どまつ、みかん、もんぶらん。



とつても  
ヘルシー  
寒天麺

ちょっと手づくり  
**かんてんぱぱ®**

寒天って  
おいしい。  
手づくりって  
楽しい。

できたて  
柔らか  
わらび餅

ふっくら  
ホクホク  
お芋のケーキ



200種類以上の寒天製品が並ぶ、寒天専門店。  
簡単に作れるデザートの素やお湯を注ぐだけで  
できるスープなどラインナップもさまざま。  
ちょっと手作り、してみませんか？



かんてんぱぱショップ 小布施店  
長野県小布施町中町 1117 TEL/026-242-6280  
営業時間/9:00~18:30(冬季は~18:00)  
定休日/年末年始を除き無休

「モンブラン朱雀」専門店 えんとつ 営業時間:12時~16時(定休日 火曜日)  
◎9月中旬~10月中旬:9時~14時(定休日なし) ◎12月~2月:12時~14時(定休日なし)  
モンブラン朱雀セット ¥1,250のみのご提供となります。

か

# ねの鳴る、診療所

毎朝の診療開始を告げる鐘の音色が、  
小布施のまちの空気に  
あたたかい彩りをそえていきます。  
日々の暮らしの中とにとけこみ、  
ここにもやすまる診療所を目指して——。



栗の木診療所

381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施2252-1

内科・消化器科(胃腸科)・小児科・往診 tel.026-242-6565

診察日 月～土曜(平日: 8:30～12:00、15:00～18:00 土曜: 8:30～12:00) 休診日 日曜・祝日